令和７年度

船橋の台所事情

船橋市の予算を
わかりやすく説明します

船橋市

もくじ

予算の基礎知識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

一般会計歳出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

一般会計歳入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

市民生活に身近な予算の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

船橋市の家計簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

船橋市の財政状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

令和７年度予算の主要事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

予算の基礎知識

「予算」とはなんですか？

１年間のお金の使い道、それが予算です。

市では、お金の使い道を毎年４月から翌年の３月までの年度単位で考えます。

この１年間に市に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内で市が行っているいろいろな仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）にどのくらいのお金を使うかという支出の計画を立てます。これを「予算」といい、市の仕事は、この予算に従って行われます。

予算はどのように決めるの？

収　入

市民の皆さんに納めていただく税金、公民館やスポーツ施設などの使用料、国や県からの補助金などがどのくらい入ってくるのかという見積もりをします。

支　出

日頃、市民の皆さんから寄せられる意見や要望も取り入れながら、次年度の仕事の予定を立て、その仕事に必要な金額を見積もります。見積もった収入ですべての仕事ができればよいのですが、とても収入の範囲には収まりません。

そこで、市民生活を守るために緊急性や必要性が高いかどうか検討し、優先度が高いと判断したものについて、第３次船橋市総合計画との整合を図りながら次年度に行う仕事を決め、予算案を作成します。

お金の使い道を決めることはとても大切なので、市民の代表で構成される市議会で審議してもらい、議決を受けてはじめて予算が決まります。

決まった予算は変えられないの？

４月から翌年の３月までの１年間の予算は、３月に市議会での議決を受けて決まります。これを「当初予算」と言います。

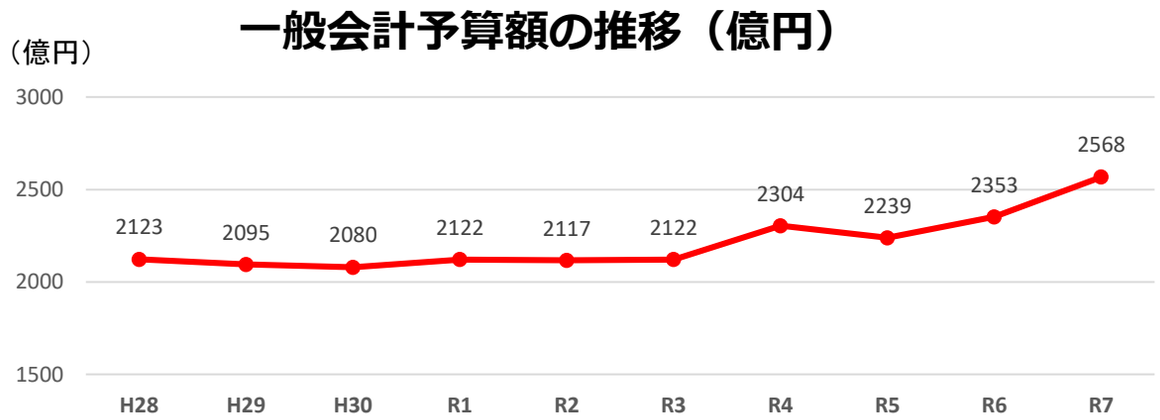
しかし、年度の途中で国が新たな制度を作ったり、台風などの災害が起こったり、社会情勢の変化や想定できなかったことが生じることもあります。

年度の途中でも、その変化や想定外のことに対応するために、追加の予算を作ります。これを「補正予算」と言います。補正予算も当初予算と同じく市議会の議決を受けて決まります。

予算の規模と会計の仕組み

一般会計

市の基本的な仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）を行うための会計です。
一般的に市の予算と言えば「一般会計」をさし、市税を主な財源としています。
令和7年度の予算規模は、2568億円で前年度比9.2%の増となりました。



特別会計

特定の収入（国民健康保険料、介護保険料など）がある、特定の目的のための予算を経理する会計を「特別会計」と言います。
お金の出し入れをわかりやすくするために一般会計と財布を分けて管理します。

区分		令和7年度予算額
特別会計	国民健康保険事業	５０６億２２００万円
	公共用地先行取得事業	４億７８００万円
	船橋駅南口市街地再開発事業	６億９１００万円
	介護保険事業	５４２億６９００万円
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	１億１７００万円
	後期高齢者医療事業	１０２億７１００万円
	計	１１６４億４８００万円

公営企業会計

市が企業的性格を持った事業（市場、病院、下水道）を経営するための予算を経理する会計を「公営企業会計」と言います。事業の収入を主な財源としています。
特別会計と同様にお金の出し入れをわかりやすくするために、一般会計や特別会計と財布を分けて管理します。

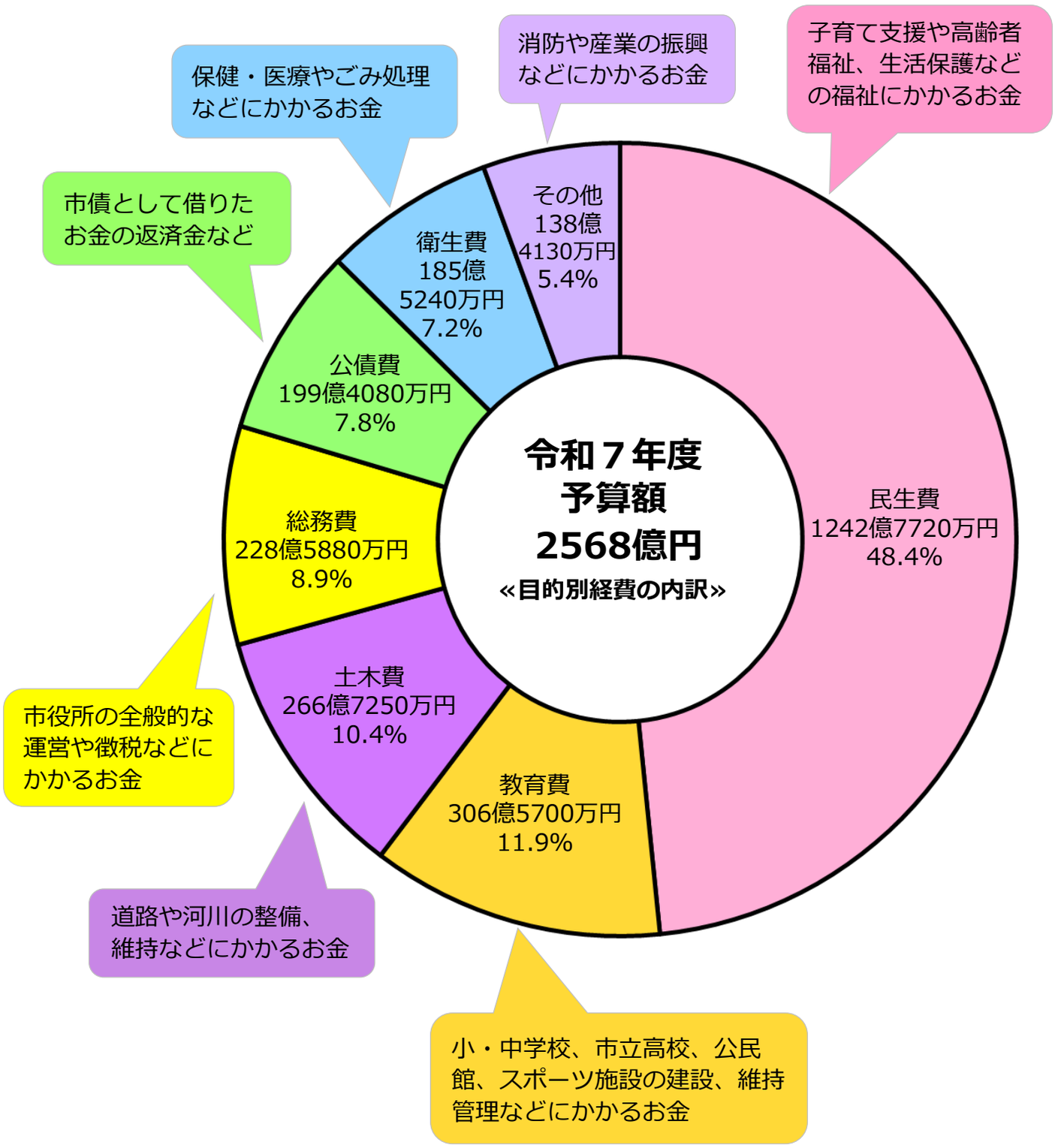
区分		令和7年度予算額
公営企業会計	地方卸売市場事業	１３億４８００万円
	病院事業	２３８億　１００万円
	下水道事業	３９７億６０６０万円
	計	６４９億　９６０万円

一般会計歳出

市の支出にはどんなものがあるの？

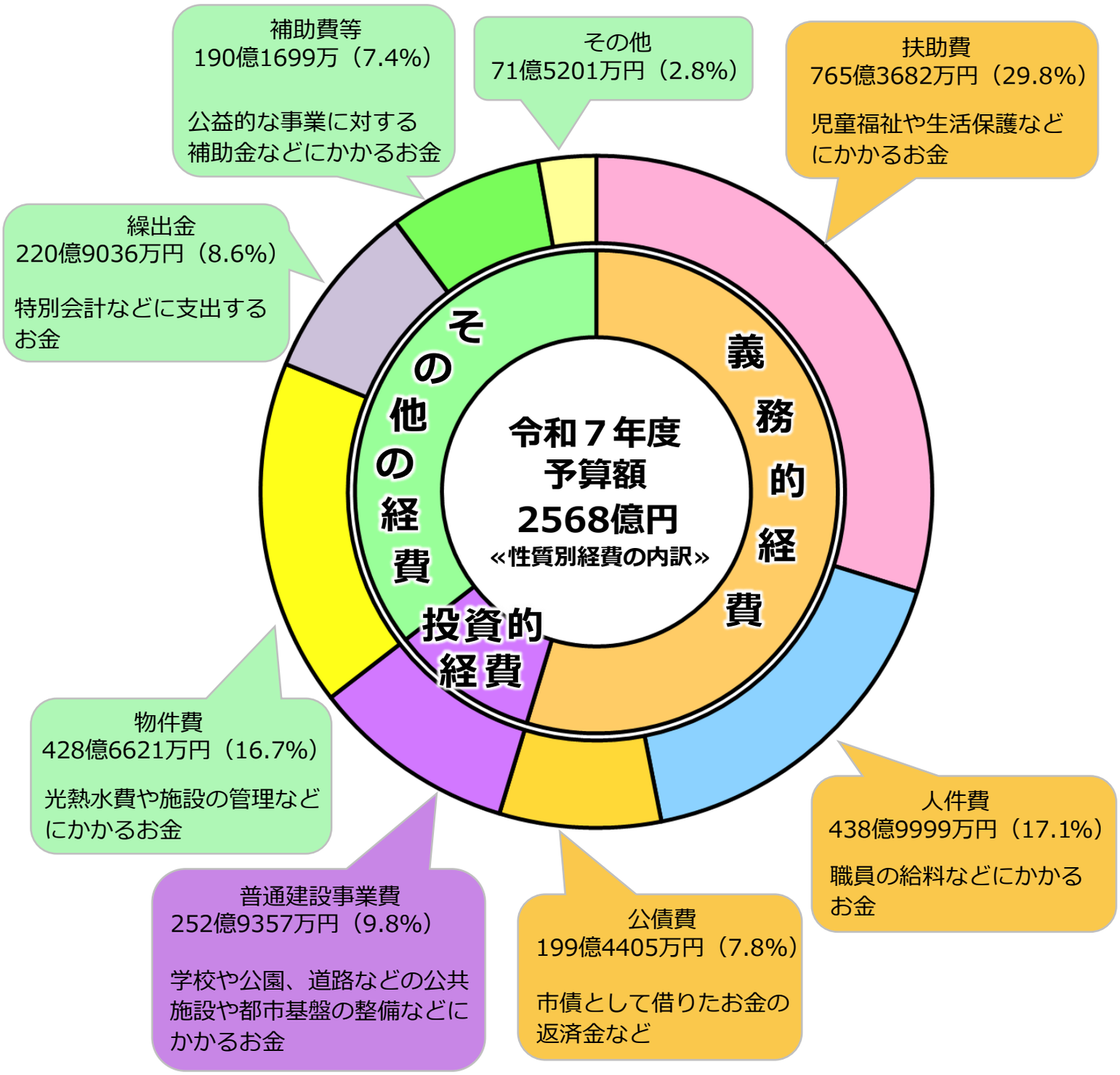
目的別経費による内訳

市の歳出（１年間の市の支出）を経費の目的に着目して分類すると、下のグラフのようになります。



性質別経費による内訳

市の歳出を経費の性質に着目して分類すると、下のグラフのようになります。

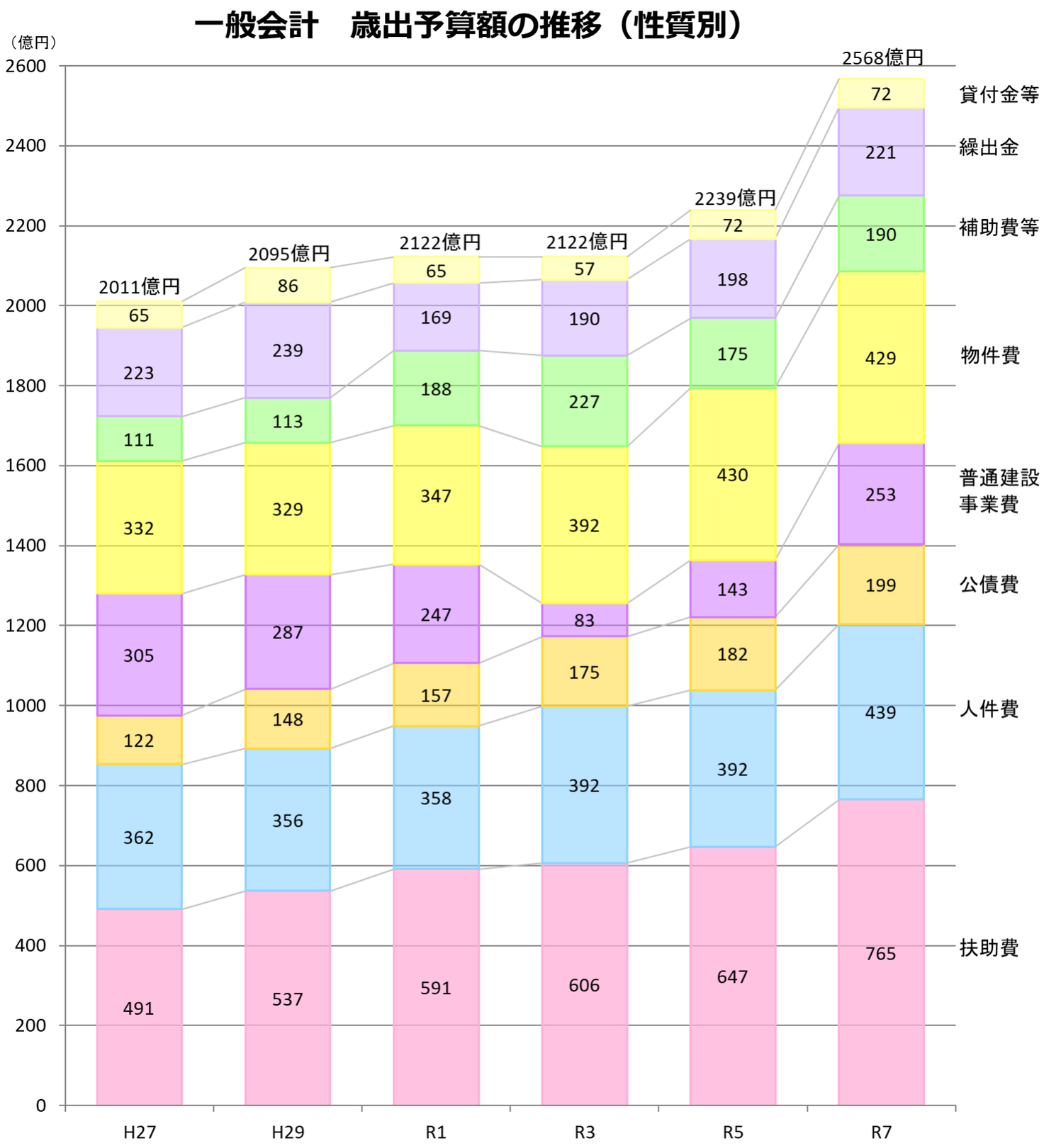


義務的経費・投資的経費とは…

義務的経費・・・法令などにより支払いが義務付けられていて、減らすことが難しい経費
投資的経費・・・道路、橋、公園、学校などの建設や大規模な修繕などの経費

性質別経費の推移

予算額を10年前と比較すると歳出全体で557億円も増えています。そのうち最も増加額の大きい義務的経費である扶助費は、児童手当や障害者福祉費などの社会保障経費の増加により、10年前に比べ約274億円増加しています。



一般会計歳入

市の収入にはどんなものがあるの？

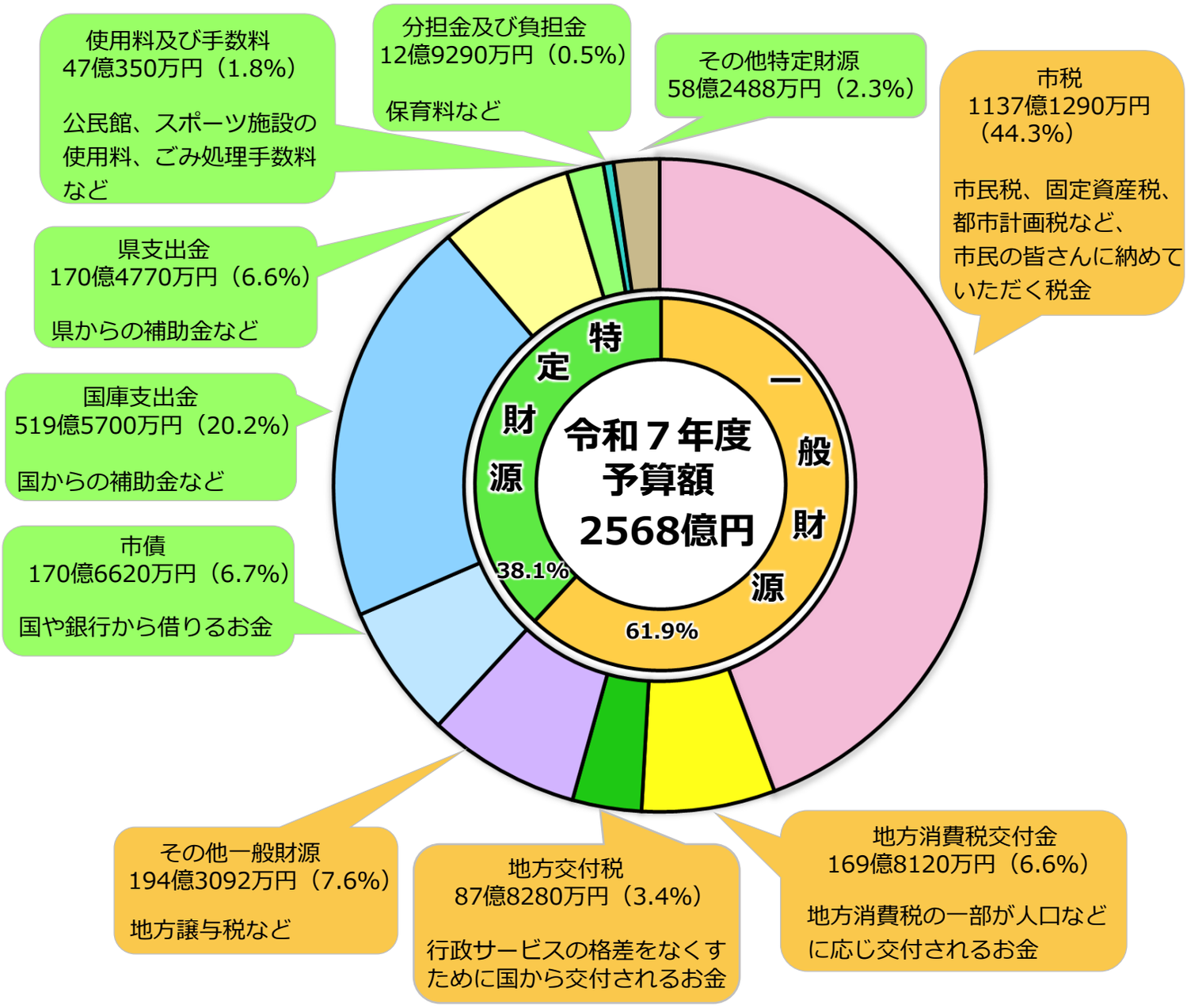
市の歳入（１年間の市の収入）のうち、最も大きいものは「市税」です。また、国や県からもらう「国庫支出金」や「県支出金」、借入金である「市債」などがあります。

これらの収入は、使い道が自由な「一般財源」と使い道が決められている「特定財源」に分けられます。

一般財源は、市が受け取る時点で使い道が決まっていないお金のことで、市税や地方交付税などがあります。

特定財源は、市が受け取る時点で使い道が決まっているお金のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金や、公共施設の改修工事などに使うために国や銀行から借りる市債などがあります。

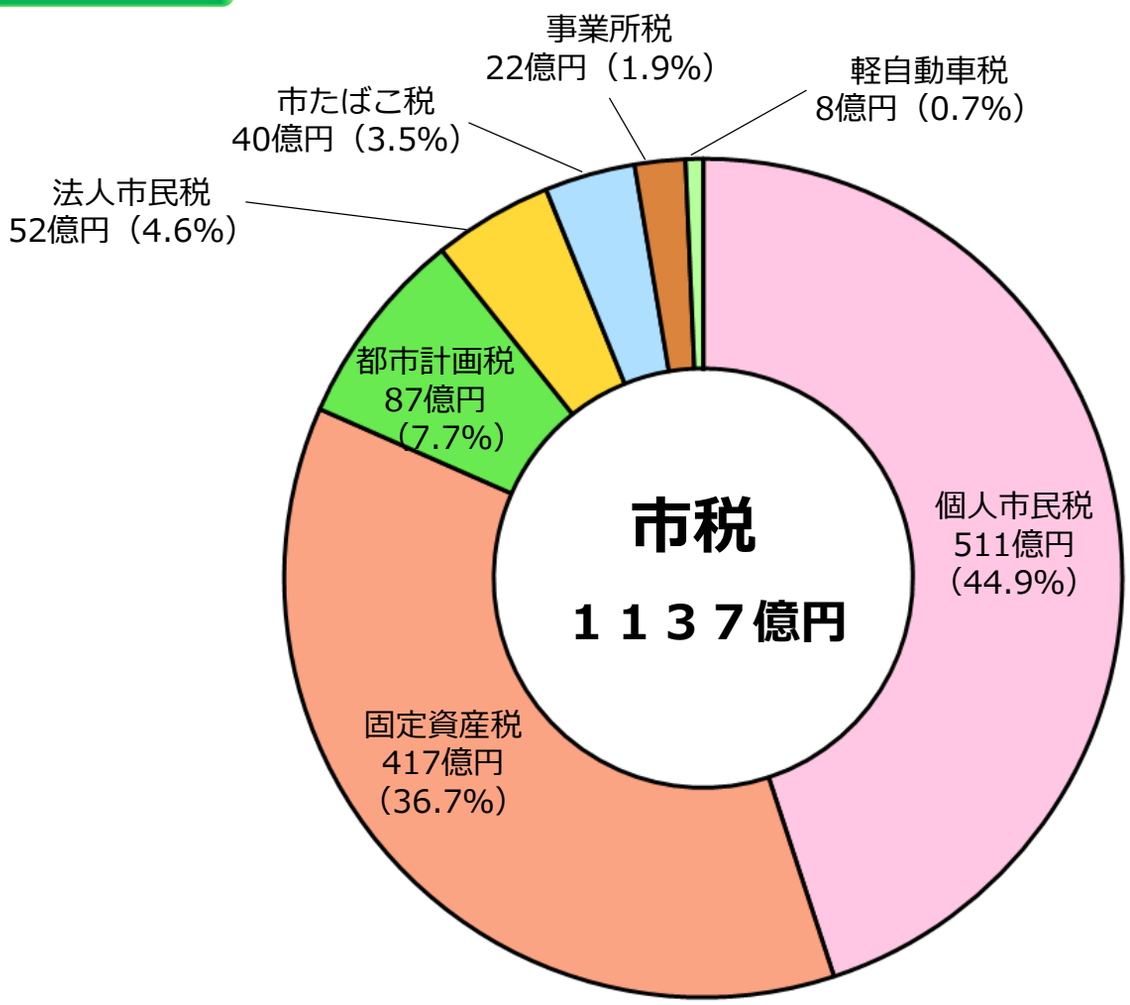
市民の皆さんの様々なニーズにお応えする仕事を行うためには、使い道を自由に決めることができる「一般財源」の確保が重要です。



市税の概要

市税は、市の歳入の約半分を占めています。そのうち、「個人市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。市税の中では、景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから、比較的変動の少ない歳入構造が本市の特徴です。

市税の内訳



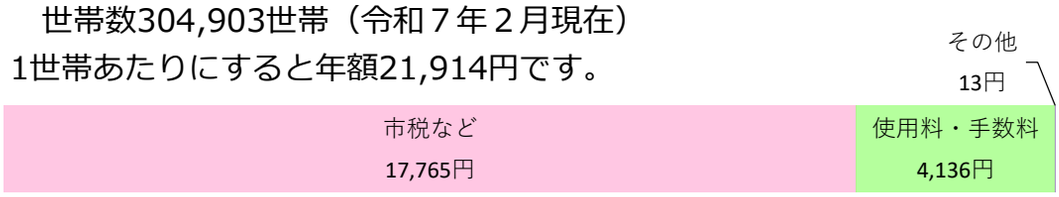
個人市民税	市民の皆さんに納めていただく税金
固定資産税	土地・家屋・償却資産（事業用の機械など）にかかる税金
都市計画税	下水道・道路などを整備する都市計画事業の費用に充てるための税金
法人市民税	市内に事業所等がある法人に納めていただく税金
市たばこ税	たばこの製造業者などが市内の小売販売者に売り渡した「たばこ」にかかる税金
事業所税	都市環境の整備などの費用に充てるため事業所などに納めていただく税金
軽自動車税	軽自動車や原付バイクなどにかかる税金

市民生活に身近な予算の内訳

皆さんが納める税金や国や県からの補助金がどんな事業にどのくらい使われているかを市民生活に身近な予算を例に紹介します。

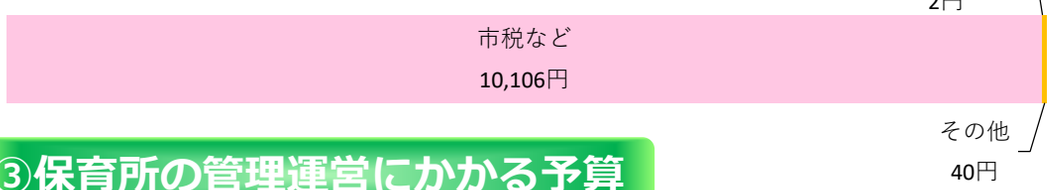
①ごみの収集・処理にかかる予算

ごみの収集や焼却にかかる人件費や清掃工場の運営費などで年間67億円かかります。
　世帯数304,903世帯（令和７年２月現在）
1世帯あたりにすると年額21,914円です。



②消防・救急にかかる予算

消防活動や救急活動にかかる人件費や消防車両の維持費などで年間66億円かかります。
　人口648,125人（令和７年２月現在）
市民1人あたりにすると年額10,148円です。



③保育所の管理運営にかかる予算

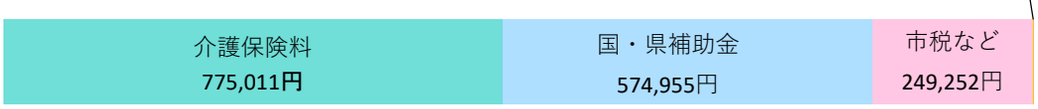
認可保育所の管理運営にかかる人件費や施設の維持費などで年間236億円かかります。
　入所児童数12,135人（令和７年推計）
入所児童1人あたりにすると年額1,944,410円です。

④公園の整備・維持管理にかかる予算

公園の整備や維持管理にかかる費用などで年間35億円かかります。
　人口648,125人（令和７年２月現在）
市民1人あたりにすると年額5,360円です。

⑤介護保険サービスにかかる予算

介護サービス・介護予防の実施等にかかる費用などで年間543億円かかります。
　要介護・要支援認定者数33,899人（令和７年推計）
対象者1人あたりにすると年額1,600,903円です。



船橋市の家計簿

市の予算額（一般会計）は、2568億円と非常に大きいため、額を縮小して市の予算を家計簿に置き換えてみました。給与年収460万円（※）（給与月収383,000円）であらわしています。

毎月の収入

給与	383,000円
（うち基本給〈市税〉：199,000円） （うち諸手当〈地方譲与税、地方消費税交付金、国・県支出金など〉：184,000円）	
家賃収入	21,000円
分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入など	
親からの仕送り	15,000円
地方交付税	
借入金	30,000円
市債	
合計	449,000円

毎月の支出

食費	77,000円
人件費	
医療費など	134,000円
扶助費	
光熱水費や電話代などの生活費	121,000円
物件費、補助費等、維持補修費など	
子どもへの仕送り	38,000円
他会計への繰出金	
家の増改築費	44,000円
普通建設事業	
ローン（借金）の返済	35,000円
公債費	
合計	449,000円

※年収460万円は、国税庁が調査した令和5年分民間給与実態統計調査の平均給与額

船橋市の財政状況

市の貯金、借金などの状況や、市の財政の健全化を図る指標を他市との比較を交え説明します。

船橋の財政状況はいいの？

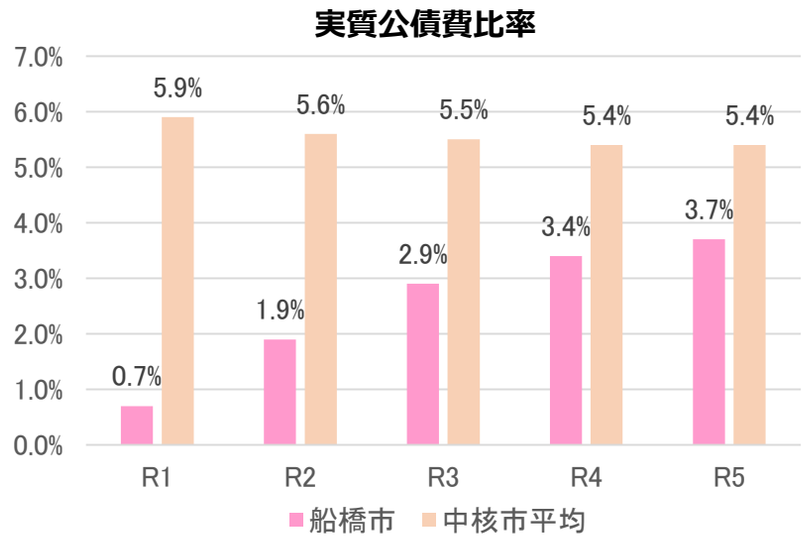
平成19年に、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的とした「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定されました。

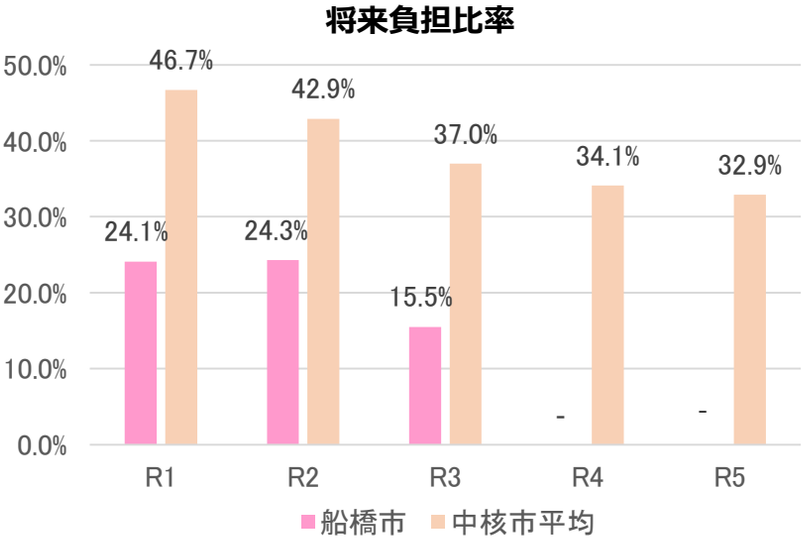
自治体財政の早期健全化や再生の必要性を判断する「健全化判断比率」として、４つの財政指標があります。

これらの指標のうち１つでも国が定めた基準（早期健全化基準）以上の数値になった場合には、財政健全化計画を策定し、財政状況改善の方策を議会の承認を受けたうえで公表する必要があります。船橋市は現在のところ、いずれの指標もこの基準を下回っています。このうち特に大切な２つの指標を説明します。

（令和5年度決算　　単位：%）

指標	船橋市	中核市平均	早期健全化基準
実質公債費比率	3.7	5.4	25.0
将来負担比率	-	32.9	350.0
実質赤字比率	-	-	11.25
連結実質赤字比率	-	-	16.25





実質公債費比率

収入に対する公債費の占める割合で、数字が小さいほどその年度の借金返済の負担が小さいということです。

令和5年度決算では、清掃工場の建て替えなどの借金返済によって負担が増え、3.7%となっていますが、県内54市町村中11番目に小さく、全国の中核市62市中でも22番目の小ささです。

将来負担比率

市の実質的な借金から貯金などを除いた額が、収入の何年分かを示したもので、数字が小さいほど将来の借金返済の負担が小さいことを示しています。

令和5年度決算では、令和4年度と同様、借金の返済が進んだことや市の貯金を増やせたことなどによって、将来返済する予定である借金を貯金などで十分返済可能となったため「－」で表示していますが、将来の財政需要に備えるため、今後も堅実な財政運営が必要となっていきます。

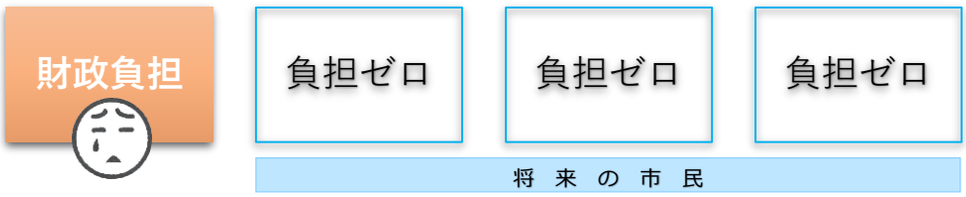
なぜお金を借りるの？

「借金は少ない方が良い」と考えるのは当然ですが、学校や公園などの公共施設の整備には多額の費用が必要です。これらの費用を１年間の予算だけで賄ってしまったら、その１年は他の仕事ができなくなってしまいます。

また、学校や公園などは長い期間たくさんの市民が使いますが、１年間の予算で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに施設を利用できることになります。

そこで、「市債」という借金をして、１年間の整備費用の負担を小さくし、何年にもわたり返済することで、施設を利用するすべての世代の市民に整備費用を公平に負担してもらうことができます。

市債(借金)を活用しないと・・・公共施設を整備する年度の市民が全額負担し、将来の市民は負担なし

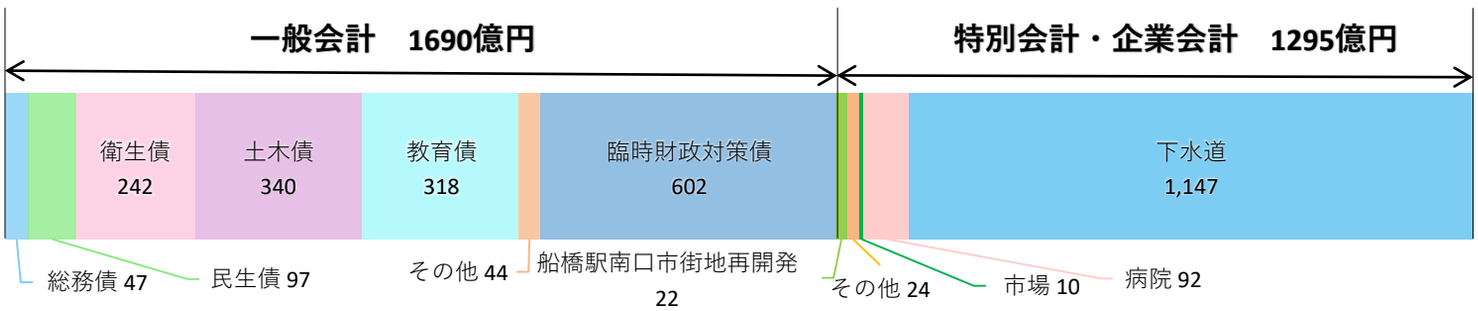


市債(借金)をして・・・将来の市民も整備費用を公平に負担します

今までいくら借りて、何に使ってきたの？

市債の残高は、令和５年度末に、一般会計で1690億円、全会計で2985億円となっています。その使い道は、学校や道路、清掃工場、下水道といった施設の整備や改修が中心です。近年は、公共施設の大規模改修や道路・河川などの整備に多く使われています。また、「臨時財政対策債」の残高が高い割合を占めています。

令和5年度末現在　市債残高



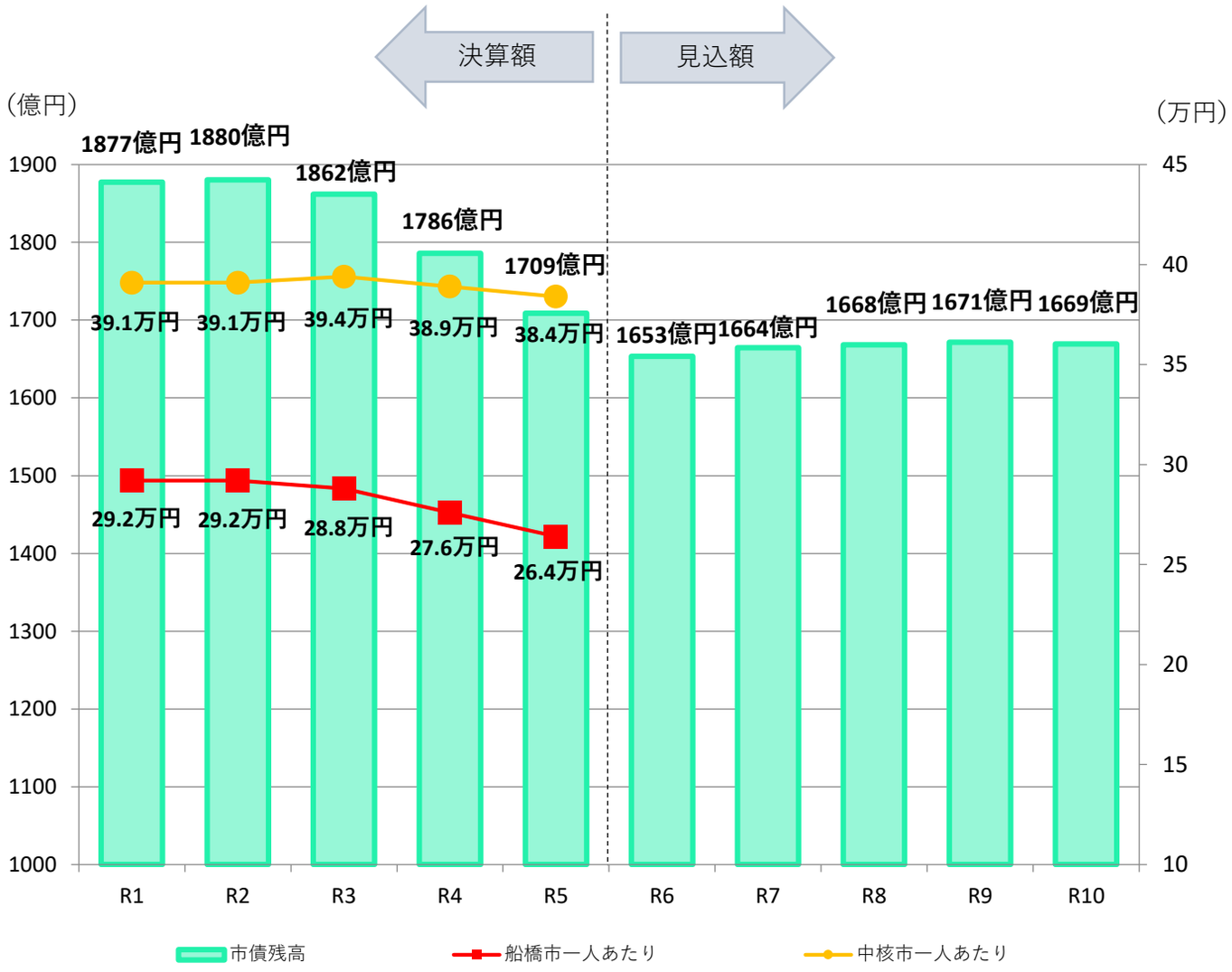
- **総務債**……出張所、防災施設の整備、東葉高速鉄道への出資など
- **民生債**……障害者・老人・児童福祉施設、保育所の整備など
- **衛生債**……清掃工場、保健福祉センターの整備など
- **土木債**……道路、橋りょう、公園、河川の整備など
- **教育債**……小・中学校、高等学校、公民館の整備など
- **臨時財政対策債**…国が地方に交付する地方交付税の一部について、市が代わりにする借金で、返済にかかる費用は将来の地方交付税に加算されて交付されます

近年の市債の残高は？

令和５年度末の市債残高は、普通会計で1709億円、市民一人あたりの金額は263,569円となります。これは全国の中核市62市（平均383,949円）の中では12番目に少ない額となります。

小・中学校等の公共施設の大規模改修や清掃工場の建替、臨時財政対策債の発行により増加していた市債の償還が進み、残高は1700億円を下回る見込みです。

市債残高の推移

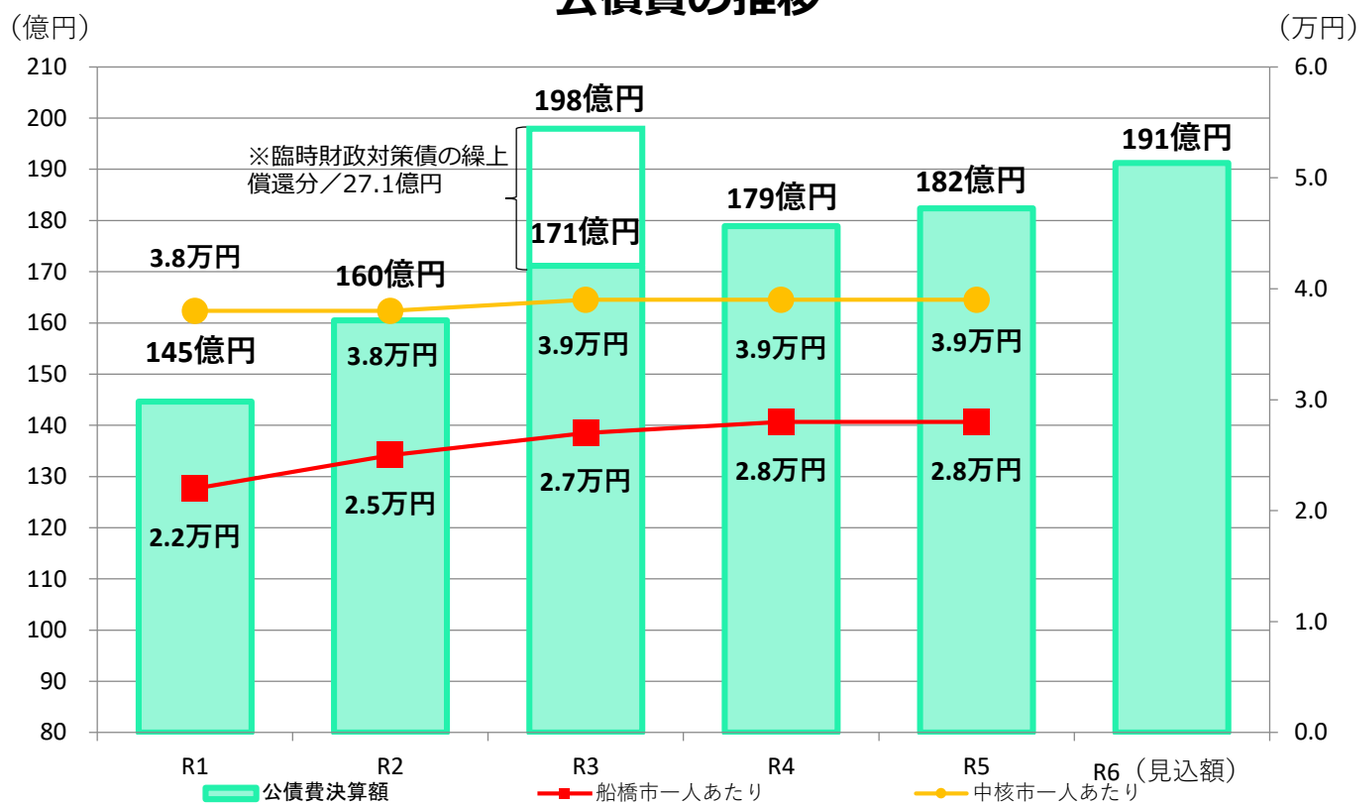


普通会計ってなに？

全国の自治体の予算の作り方をみると、介護サービス事業や区画整理事業などを一般会計で行ったり、特別会計や企業会計で行ったりとバラバラな部分があります。

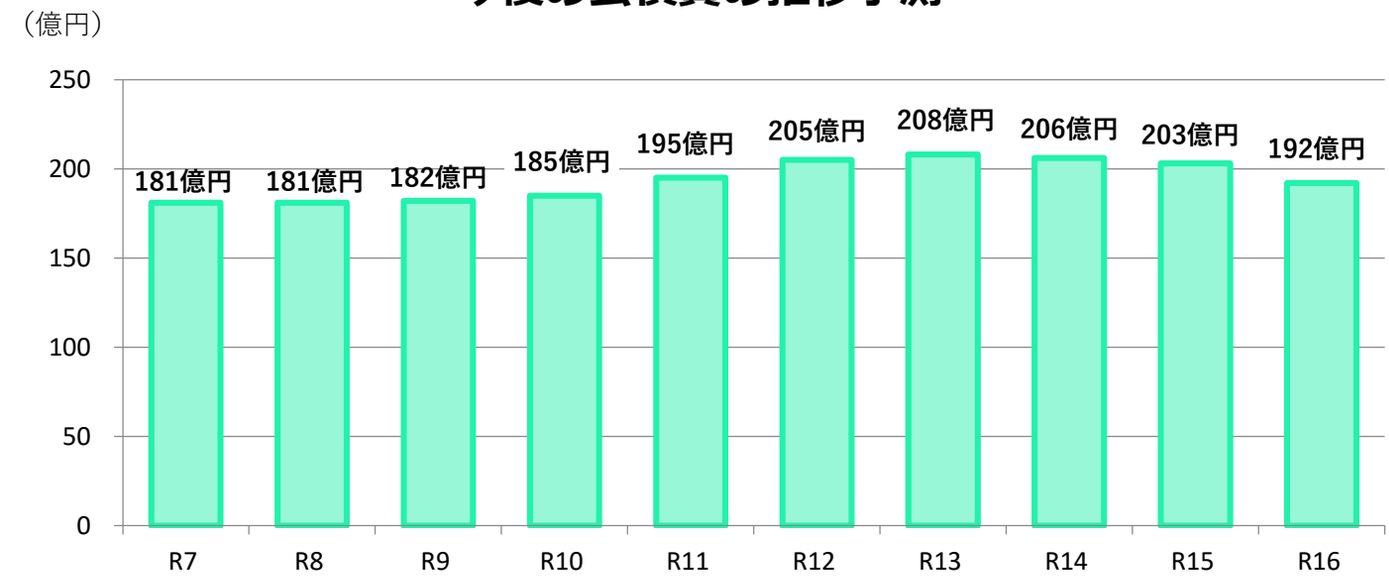
そこで、自治体間で比較できるようにした統一的な基準となる会計区分を「普通会計」と言います。

公債費の推移



※令和３年度の公債費は198億円と急増していますが、臨時財政対策債の償還費として普通交付税が追加交付され、繰上償還を行ったことによります。実質的には171億円でした。

今後の公債費の推移予測



返済は大丈夫なの？

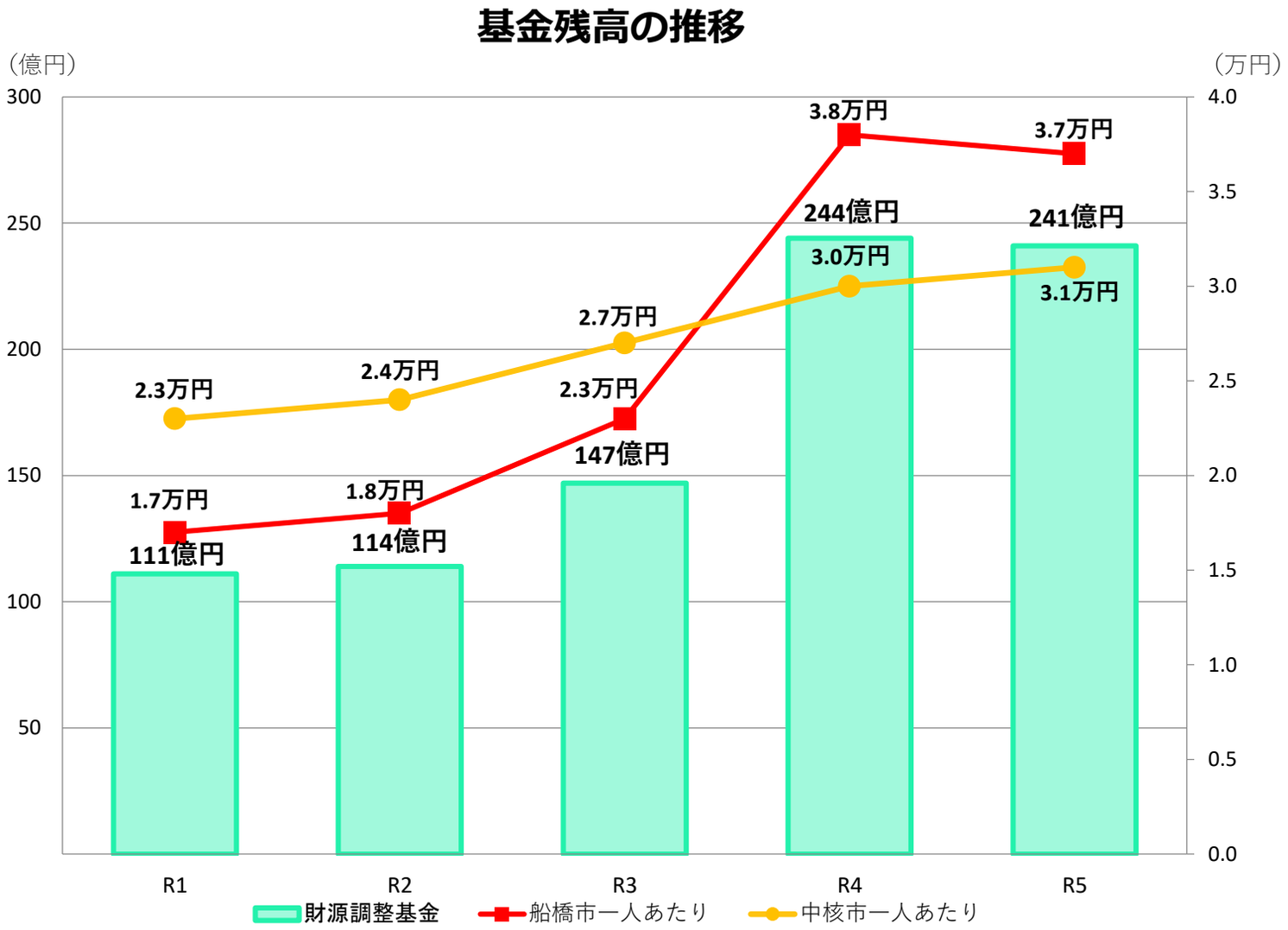
市債の返済金を「公債費」といい、市税などの一般財源で返済しています。

令和５年度の公債費の決算額（普通会計）は182億円で、市民一人あたりの金額は28,135円となります。これは全国の中核市62市（平均38,928円）の中で15番目に少ない額となっています。

今後も公共施設の老朽化や長寿命化への対応を行う必要があるため、引き続き普通建設事業の優先順位付けを行うことで、将来の公債費の負担が軽くなるように取り組んでいきます。

貯金はあるの？

市には、急激な収入の落ち込みや、災害復旧などの想定外の支出の増加などに備えるための貯金があります。これを「財源調整基金」と言い、毎年、決算の時に余ったお金（剰余金）等から積み立てています。



財政状況の比較は「中核市同士」で

同じ自治体と言っても、村や町から人口が100万人を超える市まで様々です。また、自治体により必要とされる行政サービスが異なります。

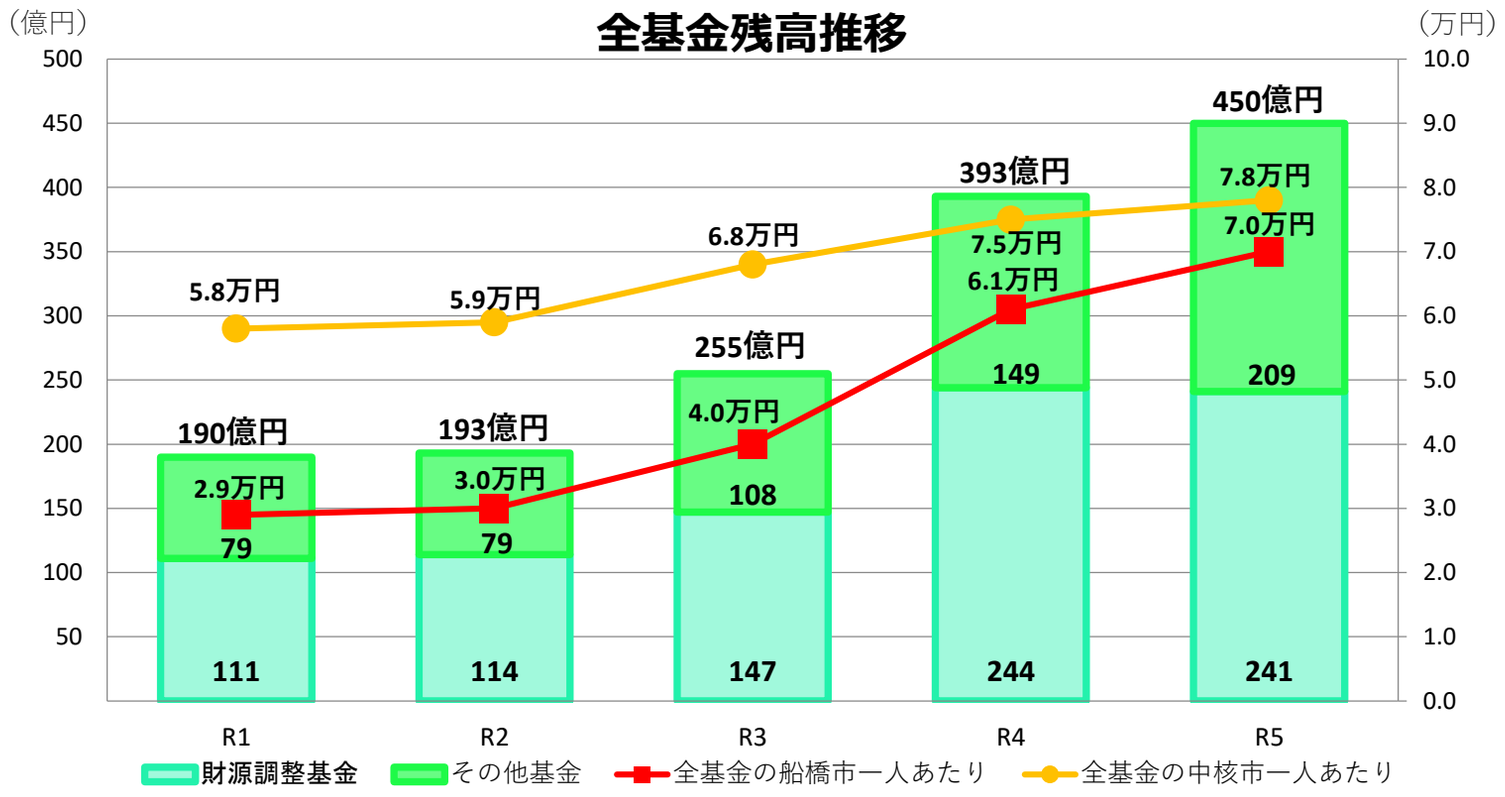
特に、政令指定都市（千葉市など）や中核市（船橋市、柏市など）は、都道府県の行う仕事の一部を行っているため、普通の市と比べると行っている仕事や必要となる財源が大きく異なります。そのため、財政状況を他市と比較するときには、船橋市と同じ中核市同士で比較します。

その他の貯金はどのようなものがあるの？

財源調整基金の他にも、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てる貯金（積立基金）や一定額の貯金そのものを運用し、事業を行うための貯金（定額運用基金）があります。

	基金の名称	目的
積立基金	職員退職手当基金	退職手当の財源に充てるため
	減債基金	市債の償還に必要な財源を確保するため
	公園緑地整備基金	公園の整備、緑の保全、緑化の推進を図るため
	福祉基金	地域福祉の増進に資するため
	一般廃棄物処理施設等整備基金	施設の整備に必要な資金を積み立てるため
	文化振興基金	文化の振興に資するため
	森林環境譲与税基金	森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため
	公共施設保全等基金	公共施設の計画的な保全や更新に必要な財源に充てるため
	医療センター整備基金	医療センターの整備に必要な資金を積み立てるため
定額運用基金	高額療養費貸付基金	高額療養費の貸し付けのため
	文化芸術ホール事業基金	自主事業を円滑かつ効率的に行うため

船橋市の貯金額はどれくらい？



近年、基金の残高は増加していますが、全基金残高を中核市で比較すると、市民一人あたりの貯金は少ない方です。

財源調整基金では・・・
船橋市１人あたり3.7万円
中核市１人あたり3.1万円
船橋市**17位**／６２市中

全基金では・・・
船橋市１人あたり7.0万円
中核市１人あたり7.8万円
船橋市**34位**／６２市中

令和７年度予算の主要事業

令和7年度の予算は、資材価格・労務単価の高騰に対応するとともに、「人も まちも 輝く 笑顔あふれる 船橋」の実現に向けた取り組みを着実に実施するため、安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備、児童・生徒への支援及び教育環境の充実、自然災害等への対策、都市基盤の整備など、本市の未来を見据えて取り組むべき施策を中心に配分しました。

ここでは、令和7年度予算に計上した主要事業を、自治体ＤＸに向けた取り組みと第３次総合計画（※）基本構想の5つの「めざすまちの姿」ごとにご紹介します。

※第３次総合計画は「基本構想－基本計画－実施計画」で構成され、基本構想及び基本計画の計画期間は令和4年度から令和13年度までの10年間となっております。

自治体ＤＸに向けた取り組み

● キャッシュレス決済の導入（１８７３万円）

市民の利便性の向上を図るため、各出張所・連絡所で、2次元バーコードなどのキャッシュレス決済を新たに導入します。

● デジタル採点システムの導入（２９３２万円）

教職員の採点業務の効率化・負担軽減により、子どもと向き合う時間を増やすため、デジタル採点システムを全市立中学校に導入します。

● ＩＣＴを活用した保健指導（４３３万円）

新たにウェアラブル端末やアプリなどを導入し、保健指導の利便性の向上や健康状態と取り組み結果の可視化を図ることにより、実施率の向上などを目指します。

● 交通シミュレーションシステムの改修（１１０７万円）

交通ビッグデータを活用した各種分析などに使用する交通シミュレーションシステムを改修し、最新データによる市内全域の現況再現などを行い、都市計画道路の整備や交差点改良等の効果を予測し、より効果的な道路整備につなげます。

一人一人が自分らしく輝くまち

● 文化芸術鑑賞教室の開催費用の助成（３７００万円）

全ての児童生徒が、質の高い文化芸術を鑑賞・体験できるよう、市立小・中・特別支援学校に対して文化芸術鑑賞教室を開催する費用を助成します。

● スクールソーシャルワーカー配置の拡大（９１０５万円）

児童生徒の複雑かつ多様な課題に対応できるよう、社会福祉の専門的な知識、技術を持つスクールソーシャルワーカーの配置を、派遣申請の多い中学校区で拡大します。

● スクールカウンセラーの配置（７９６３万円）

いじめや不登校など、児童生徒の相談体制を充実させるため、新たに市立特別支援学校にスクールカウンセラーを配置します。

● 小・中・特別支援学校給食費の負担軽減（４億６１２６万円）

市立小・中・特別支援学校の学校給食の食材料費のさらなる高騰に対応するため、公費負担を引き上げ、保護者に新たな経済的な負担を求めることなく、引き続き質の高い給食を児童・生徒に提供します。

▲ A献立とB献立から選べる中学校の給食

● 部活動外部指導者派遣（１１４０万円）

教職員の負担を軽減するとともに、部活動指導の充実を図るため、運動部活動外部指導者の派遣回数を拡大するほか、文化部活動にも民間の指導者を学校に派遣します。

● 学校校舎等建替・増築（１３億４８４１万円）

海神中、宮本中、御滝中の校舎等の建て替えを計画的に進めます。また、船橋中の普通教室とランチルームの増築や薬円台南小にエレベーターを設置するための設計などを行います。さらに、支援が必要な生徒数の増加に対応するために、市立特別支援学校金堀校舎を増築します。

● まちかどスポーツ広場の整備（１億８８９万円）

子どもたちから希望があったスケートボードもできる（仮称）夏見町2丁目まちかどスポーツ広場や少年野球などができる（仮称）芝山まちかどスポーツ広場を新たに整備します。

住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせるまち

● 家事・育児支援サービス（３０９７万円）

妊娠期から産後の体調や感情面での変化がある妊産婦に対して、家事・育児の訪問支援サービスを行います。

● 1カ月児健康診査（２７８５万円）

子どもの疾病などの早期発見と養育者への育児に関する助言を目的に、産科医療機関に委託し、1カ月児健康診査を実施します。

● 「ふなばし手当」の増額（１３億５２１９万円）

市内の私立保育所で働く保育士などの処遇向上のための補助金である「ふなばし手当」の支給額を増やします。

● 大学受験料等支援（２３２６万円）

経済的課題を抱えるひとり親家庭などの子どもの進学に向けた支援を行うため、大学等の受験料と模擬試験受験料の補助を行います。

● 児童相談所整備（３２億５５２３万円）

児童虐待の未然防止から一時保護などの措置、在宅支援までを切れ目なく一貫して市が行うため、令和8年度の開設に向けて市児童相談所の整備を進めます。また、環境への負荷を軽減するため、太陽光発電設備を設置するとともに、ZEB Ready（※）の認証を取得します。

※各種の省エネ手法により、法で定める基準値に対し建物で消費するエネルギー量を50%以上削減することができる建物

● 骨粗しょう症検診（２０５２万円）

早期に骨量減少者を発見して骨粗しょう症を予防することにより、生活機能の維持・向上を図るため、40歳から70歳までの5歳刻み年齢の女性に対して、骨粗しょう症検診を実施します。

● 身寄りのない高齢者などへのサポート（１０１６万円）

身寄りのない高齢者などが安心して生活を営めるよう、平素からの見守りや医療機関への入退院の支援、亡くなられた後に必要となる手続きなどを支援します。

活力と魅力にあふれ、進化し続けるまち

● 海老川上流地区のまちづくり（２９億３３８２万円）

「ふなばしメディカルタウン構想」の実現を目指している海老川上流地区のまちづくりについて、引き続き土地区画整理事業の支援を行うとともに、東葉高速鉄道株式会社が実施する新たな駅施設の整備などに要する費用を負担します。

● 二和東5丁目市有地活用事業（９億５５２万円）

二和東5丁目市有地の都市機能の充実を図るため、旧国家公務員宿舎の解体工事、北図書館等複合施設駐車場・駐輪場移設工事の設計などを行います。

● 新規就農者育成総合対策（３００万円）

農業人材の定着を図るため、次世代を担う農業者となることを目指す49歳以下の認定新規就農者に対し、早期の経営確立を支援する資金を助成します。

▲ 二和東5丁目市有地整備イメージ

快適で豊かに暮らせる、人と環境にやさしいまち

● 都市計画道路の整備（１７億６８２６万円）

慢性的な交通渋滞を緩和し、円滑な道路ネットワークを構築するため、船橋市道路整備プログラムに基づき、次期事業着手箇所である都市計画道路3･3･7号線など2路線の用地測量、都市計画道路3･3･8号線の予備設計を行います。また、都市計画道路3･3･7号線の東海神駅付近の地下横断施設や都市計画道路3･4･27号線の橋りょうなど、事業中の4路線の整備を進めます。

● 生活道路安全対策（８０５０万円）

歩行者の安全性向上を図るため、ゾーン30プラスを飯山満町南地区・宮本地区に整備します。

● グリーンスローモビリティの導入（９７７万円）

公共交通不便地域における持続可能な地域内交通手段確保のため、昨年実証運行を行った坪井地区で地元組織が運行主体となって「グリーンスローモビリティ」を運行します。令和7年度は車両を購入し、長期で運行します。

● 馬込霊園整備（２８９０万円）

船橋市墓地等基本方針を踏まえ、馬込霊園第5次整備計画に基づき、合葬墓などの整備に着手します。

命と暮らしを守る強靭なまち

● 住まいの防犯対策への補助（８０８１万円）

防犯対策の強化を図るため、自宅に設置する防犯対策物品の購入・設置費を助成します。

● 犯罪被害者等支援（４５８万円）

犯罪被害者などの権利利益の保護と犯罪被害者などが受けた被害の回復、軽減を図るため、犯罪被害者等支援事業を行います。

● 家具転倒防止金具設置費の補助（４４０万円）

地震発生による家具などの転倒を防止するため、自ら転倒防止金具を取り付けることが困難な高齢者や障害者などに設置費用などを助成します。

● トイレカーの整備（３１６６万円）

災害時に避難者などが衛生的にトイレを使用できるよう、トイレと車両が一体化し、被災地への災害派遣も可能なユニバーサル仕様の大型トイレカーを新たに配備します。

▲ トイレカー（イメージ）

● 災害医療対策（６９９万円）

発災時に通信インフラが停止している状況でも、正確な情報を迅速に相互共有できるよう、保健福祉センター、医療センター、災害医療協力病院に新たに衛星通信機器を整備します。

● 東消防署薬円台出張所の移転建て替え（４００万円）

東消防署薬円台出張所の移転建て替えのため、移転先用地の測量を行います。

市では、（公益）千葉県市町村振興協会から「サマージャンボ宝くじ」と「ハロウィンジャンボ宝くじ」の収益金の配分を受けています。

宝くじの収益金は、都道府県別の販売実績額などによって配分されるので、購入は千葉県内の宝くじ売り場で!!

船橋市

市の財政に関する詳しい情報は、
市のホームページでもご覧いただけます。

https://www.city.funabashi.lg.jp/

トップページ ⇨ 市政・市の紹介 ⇨ 財政（予算・決算）

令和７年４月

発行／船橋市　　編集／企画財政部財政課　　電話／０４７－４３６－２１５２